



学校だより

令和2年 8 月 31日 発行

9月 359号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawanishi/>

優しい気持ち 強い気持ち

学校長 稲葉 靖

「人権」は、だれもが、安心して、豊かに、自分が自分として生き生きと生活する上で不可欠なものです。

「人権」がすべての人に保障されるためには、一人ひとりが自分をかけがえのない存在として思えるようになること、ひいては他の人も同様にかかけがえのない存在として尊重したいと実感できるようにすることが必要です。

これは「人権教育」の基本的な考え方です。

すべての子どもたちが、「差別」や「偏見」をうけることなく「安心して」「豊かに」生活できるようにするために、学校生活のなかでは、子どもたちが主体的に学び合い、そのことを通して「自尊感情」を育てていく必要があることや、日本や世界の様々な人権にかかわる問題の解決をめざす取組にも目を向けられるように支援していくことが重要であると言われていました。

さて、現在の状況は、「だれもが安心して生活できる社会」と、言えるでしょうか。

ニュースでは、新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて文部科学大臣がメッセージを示したことを報じていました。

保護者や地域に宛てたメッセージには、感謝の言葉と共に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷を許さない姿勢や、学校における感染症対策と教育活動の両立に対するご理解・ご協力へのお願いが記されていました。

「人」は、「安心」を得るため、時として味方と敵をわける心理を働かせることがあります。

「ウイルスに感染した個人や学校を特定して噂をする」ことなども、そういった心理からくる行動かもしれません。身の周りに、もし差別につながる発言があった時には、決して同調しない強い気持ちを示していただきたいと思います。

私たちは、学校教育にしかできない、学校教育ならではの学びを子どもたちに継続的に保障し、子どもたちの真の「自尊感情」を育てていきたいと考えています。

「人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります」と語った大臣のメッセージが強く印象に残りました。

文部科学大臣のメッセージ (本校ホームページ掲載)

https://www.mext.go.jp/content/20200825-mxt_kouhou01-000009569_3.pdf

※おうち時間が増えていることに伴い、インターネット、スマートフォンでのトラブルも増えています。今いちど六つ川中学校ブロックでの約束を確認し、適切な利用について話し合ってくださいと思います。

～六つ川中学校ブロック 地域の約束～ 保護者は、子どもに与えた情報機器について

- ・フィルタリングをかけるなど、安全に使えるよう設定します。
- ・使用時間を適切に決めます。
- ・暗証番号を管理し、使い方を把握します。
- ・家庭での話し合いにより、家庭ごとの約束を決めます。

